

# 新私学百景

【灘】

ハイレベルな  
催しがたくさん！  
試行錯誤を重ねた  
生徒主体の文化祭

## 理科実験ライブ『サイエンスショー』



▶体育館でのライブ。EXILEの曲に合わせてのダンスパフォーマンスをはじめ、独唱、ギター弾き語りなど生徒の個性がステージ上で爆発した。



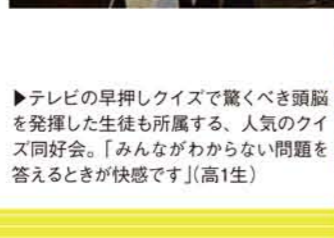
◀1万個の星を映し出すプラネタリウムは代々改良を重ねてきた地学研究部の部員たちの手作り。「星座を見ながら星の穴を正確に開ける作業に苦労しました」(中3生)「今年の金環日食を学校の天文台で見たくて入部しました」(中1生)



▶生物研究部は夏合宿で捕った魚の透明標本を展示。「川の上流から下流まで1日かけて調べ、薬品で魚の骨を染色させました。将来は特定疾患を治す薬を開発したい」と高1生。



◀IT関係のイベントをはじめ国際会議に参加したり、講演をしたりしているパソコン研究部。文化祭ではパソコンの解体を披露。電源装置やハードディスクドライブなどをわかりやすく説明した。



▶テレビの早押しクイズで驚くべき頭脳を発揮した生徒も所属する、人気のクイズ同好会。「みんながわからない問題を答えるときが快感です」(高1生)



巨大な鉄道のジオラマを完成させた鉄道研究部。「風景などのリアルをとことん追求し、約1年かけて部員の個性が出るよう製作しました」(高1生)。第二展示室では部員のオリジナル問題の鉄道クイズも実施された。

▼音楽室で行われたクラシック研究部による、本格的なコンサート。ピアノやヴァイオリン、チェロなど奏者自身が曲目の説明や感想などを書いた解説集も。



## 受験生必見！ あこがれの灘校体験

同校の文化祭は一般開放されており、受験を目指す小学生にとって灘校を肌で感じる絶好の機会。遊びながら学べる「仕掛け」があちこちにあり、数学研究部や文芸同好会が作った灘中模試や、生徒会が企画する「キャンパスツアー」も大好評です。「新中1企画」では、中1生が灘中受験の体験談をまとめて受験生にアドバイス。「勉強方法や試験の時の周りのようすなどを具体的に紹介。僕も昨年文化祭に来て自由な校風が気に入り、自分の能力が最大限に伸ばせる場所と確信しました」と中1生。その後、勉強へのモチベーションが一気に高まったそう。「灘校グッズ」や名物「灘校合格弁当」も飛ぶように売られていました。



▶地学研究部の砂山掘り。鉱物や化石、砂山採集の研究成果は、他の部同様「論文」として厚い部誌にまとめられている。

のイベントで、みんなが楽しめるような工夫が凝らされていました。「発表内容は各々異なりますが、この文化祭で目指す方向はみな同じ。試行錯誤を重ね、全員の心が次第にひとつになっていくのがわかったとき、やりがいを感じました」との文化委員長の言葉に、次代の日本を牽引するリーダーとしての資質が見えたような気がします。

5月2日・3日、同校の中高合同の文化祭が開催されました。文化部や同好会、サークルの1年間の研究発表の場であり、同校を目指す未来の灘校生も多く訪れます。校内に先生方の姿が全く見えないのは、この文化祭が生徒会を中心とした、自主的行事の色合いが強いものだからです。「校舎が改築中なので制限は多かったのですが、その制限を克服したかったです。困難に直面したときの緊張感と、文化祭に没頭するときの気持ちよさが近いものと感じ、テーマを「Dive」に決定しました。お客さまにもぜひ灘校にDiveしていただきたいです」(高3・文化委員長)

展示や講演会、理科実験、電子工作などのイベントは、高い専門性の中にもエンターテインメントの要素を取り込んだものでした。「サイエンスショー」では、さまざまな理科実験を公開。突然手から火が噴き出し、ろうそくの芯から火花が飛び散る化学マジックや、カエルの解剖などが見られます。数学研究部では、灘中模試の提供や、小学生向けの数学講義を開講。他にも、灘校一のイケメンを選ぶ「Mr.灘」や漫才コンテスト「Nー1グランプリ」、優雅な「クラシックコンサート」などの舞台発表もあり、さまざまなジャンル